



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 事務局・大阪市中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 〒540-0028
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130

ホームページ <http://nalc.jp> 毎月1回 10日発行
 Eメール編集室・kaiho@nalc.jp

新生ナルク実践・行動の年

6拠点代表が新年の抱負を語る

平成30年の幕が開けた。新会長のもとで迎える初めての年明けである。新年の挨拶で、神野会長は「基本に忠実に」と今年の方針を述べた。新生ナルクは「自立・奉仕・助け合い」という基本を武器に、新しいスタートを切ることに決めた。各地の代表が、それぞれ決意のほどを語ってくれた。

福祉の理想郷を目指して

名張東拠点 大橋健

明けましておめでとうございます。新年の皆様のご多幸とご健勝をお祈りするとともに、「すずらん台」が誰もが安心して生活できる「福祉の理想郷」になるべく、努力したいと思っております。

すずらん台は約1500世帯、4000人が生活する新興の町です。私がこの地に住まいを構えて37年になりますが、急速に高齢化が進んでいます。現在の高齢化率は28%です。

昨年、この地はブドウ畑を開発した住宅街です。坂の街になっていきます。高齢者や身体に障害がある人にとって、移動が大変困難な地形です。赤ちゃんや小学生、高齢者をそれぞれ対象にした12のボランティア団体が活躍しており、住民からは大変喜ばれています。

ナルク名張東拠点(すずらんクラブ)は、これらの団体と協同して「福祉の理想郷」づくりを目指します。

対策をとりました。会員獲得は口コミが一番です。皆様のご協力をお願いいたします。

昨年、ナルク市民後見人に2人が登録されました。3人体制が整い、認知機能が低下した会員への対応ができるようになりました。

名張東拠点が今後福祉の理想郷づくりの中核として活動するには活動会員の増強が不可欠です。昨秋、ナルクの紹介チラシをすずらん台全戸に配布するなどの

取り組みを続けています。今年も、無収入を理由に入会を断られる事例が多々ある。高齢者の運転免許返却により送迎活動の要望が急増しているの効果が期待できる。

いざいざにしても、会存続のためには、これらを着実に実行することが必須である。そして最後に今一度、全員で入会時の志・ナルクの信条を思い起こし、皆が最低、月1回の預託活動をされることをお願いして、新年の抱負をしたい。

新しい年の初め、新しい年を迎え、計画を改めて読み直し、皆で決意を新たにしたいと考えています。先ず、会員の維持・拡大の展開である。そのために、新たにPR資料を作成して全員に配布、口コミ活動を展開する。無料の新聞掲載の継続のほか、有料の市報掲載(来年2月予定)を実施する。

次に退会者を少なくする運動である。連絡網リーダーは担当会員に漏れなく接触・面談する機会を多くしていただくようお願いしている。

当拠点は全国有数の高齢者の町で、日立市在住者が中心で利用会員の入会希望は多い。ところが活動会員の平均年齢は70歳代半ばで、庭手入れ・送迎活動等の辞退者が増えてきて新規利用者を迎えるのは限界にきている。

新規の定年者は日立市外に居住しており、男性の活動会員獲得は難しい。そこで、日常支援メニュー③に着目した。すなわち、子育て中の主婦層はわずかな収入でも魅力である。

新しい年の初め、新しい年を迎え、計画を改めて読み直し、皆で決意を新たにしたいと考えています。先ず、会員の維持・拡大の展開である。そのために、新たにPR資料を作成して全員に配布、口コミ活動を展開する。無料の新聞掲載の継続のほか、有料の市報掲載(来年2月予定)を実施する。

次に退会者を少なくする運動である。連絡網リーダーは担当会員に漏れなく接触・面談する機会を多くしていただくようお願いしている。

当拠点は全国有数の高齢者の町で、日立市在住者が中心で利用会員の入会希望は多い。ところが活動会員の平均年齢は70歳代半ばで、庭手入れ・送迎活動等の辞退者が増えてきて新規利用者を迎えるのは限界にきている。

新規の定年者は日立市外に居住しており、男性の活動会員獲得は難しい。そこで、日常支援メニュー③に着目した。すなわち、子育て中の主婦層はわずかな収入でも魅力である。



雪をかぶった新春の富士山 写真・小田輝夫

入会時の初心を思い起こして

ひたち拠点 榎原廣美

新しい年を迎え、計画を改めて読み直し、皆で決意を新たにしたいと考えています。先ず、会員の維持・拡大の展開である。そのために、新たにPR資料を作成して全員に配布、口コミ活動を展開する。無料の新聞掲載の継続のほか、有料の市報掲載(来年2月予定)を実施する。

次に退会者を少なくする運動である。連絡網リーダーは担当会員に漏れなく接触・面談する機会を多くしていただくようお願いしている。

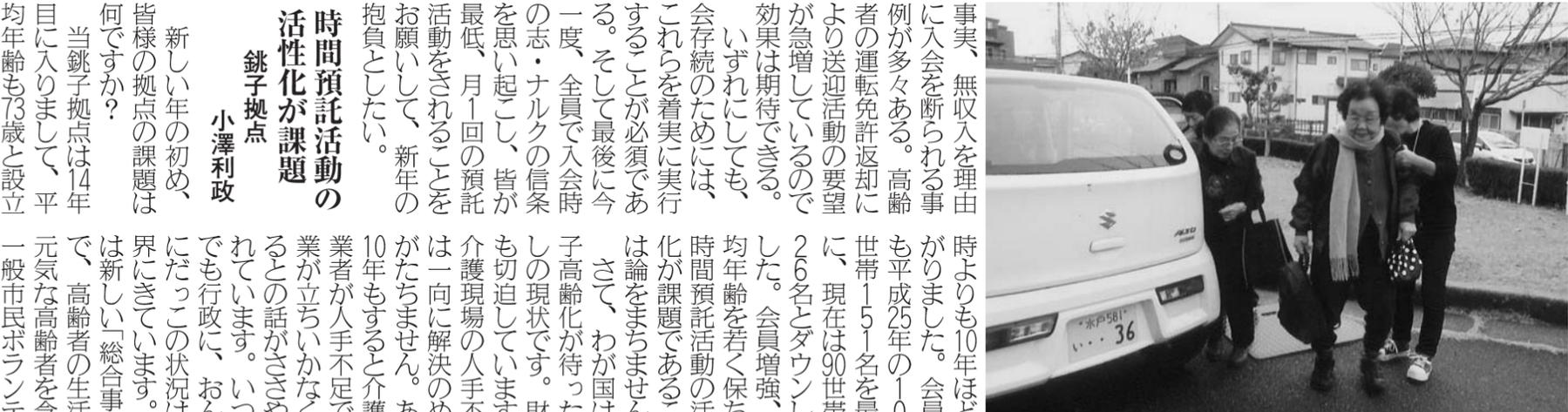
当拠点は全国有数の高齢者の町で、日立市在住者が中心で利用会員の入会希望は多い。ところが活動会員の平均年齢は70歳代半ばで、庭手入れ・送迎活動等の辞退者が増えてきて新規利用者を迎えるのは限界にきている。

新規の定年者は日立市外に居住しており、男性の活動会員獲得は難しい。そこで、日常支援メニュー③に着目した。すなわち、子育て中の主婦層はわずかな収入でも魅力である。

新しい年の初め、新しい年を迎え、計画を改めて読み直し、皆で決意を新たにしたいと考えています。先ず、会員の維持・拡大の展開である。そのために、新たにPR資料を作成して全員に配布、口コミ活動を展開する。無料の新聞掲載の継続のほか、有料の市報掲載(来年2月予定)を実施する。

次に退会者を少なくする運動である。連絡網リーダーは担当会員に漏れなく接触・面談する機会を多くしていただくようお願いしている。

当拠点は全国有数の高齢者の町で、日立市在住者が中心で利用会員の入会希望は多い。ところが活動会員の平均年齢は70歳代半ばで、庭手入れ・送迎活動等の辞退者が増えてきて新規利用者を迎えるのは限界にきている。



送迎活動に当たる「ひたち拠点」の皆さん

アの助け合い活動で支えていく方針を示しています。

今年3月末まで、すべての市町村で「総合事業」への移行が完了します。それに伴い、多くの市町村では「生活支援体制整備事業」の中で、第2層(俗に中学校区ともいわれる)の協議体の整備やコーディネートサービスの配置の取り掛かりが始まります。

地域に密着した助け合いを充実し、創出していく旗振り役であり、多くの住民組織、自治会やNPO活動団体などに相談がくることを予想されます。日頃の活動が市民や行政に認知されていることが問われることになるでしょう。

ナルク銚子としてはいろいろな機会を通じて一般市民を巻き込んで「介護シニアサポート研修」「日常生活支援研修」などの講習会を実施して多くの市民の理解を得られるようPR活動をすると共に会員の拡充に努めていきたいと思います。

亀岡拠点 大石郁夫

そのためには、第1に「向こう3軒ナルク会員」となるよう、新会員を増やすことを目標とします。

美幌拠点 松本光男

新年明けましておめでとうございます。新年4月の役員改選で代表を前任者から引き継ぐことになりましたが、まだ経験不足で、何かと皆様方にご教示いただく事も多いと思っております。美幌拠点は平成21年11月に北海道で10番目の拠点として発足し、8年が経過いたしました。会員数も発足当時の78人から、現在120人を超え、ここ2〜3年は微増ですが、約50%増えました。時間預託や奉仕活動も年々増加(次頁へ)

今年3月末まで、すべての市町村で「総合事業」への移行が完了します。それに伴い、多くの市町村では「生活支援体制整備事業」の中で、第2層(俗に中学校区ともいわれる)の協議体の整備やコーディネートサービスの配置の取り掛かりが始まります。

地域に密着した助け合いを充実し、創出していく旗振り役であり、多くの住民組織、自治会やNPO活動団体などに相談がくることを予想されます。日頃の活動が市民や行政に認知されていることが問われることになるでしょう。

ナルク銚子としてはいろいろな機会を通じて一般市民を巻き込んで「介護シニアサポート研修」「日常生活支援研修」などの講習会を実施して多くの市民の理解を得られるようPR活動をすると共に会員の拡充に努めていきたいと思います。

亀岡拠点 大石郁夫

そのためには、第1に「向こう3軒ナルク会員」となるよう、新会員を増やすことを目標とします。

美幌拠点 松本光男

新年明けましておめでとうございます。新年4月の役員改選で代表を前任者から引き継ぐことになりましたが、まだ経験不足で、何かと皆様方にご教示いただく事も多いと思っております。美幌拠点は平成21年11月に北海道で10番目の拠点として発足し、8年が経過いたしました。会員数も発足当時の78人から、現在120人を超え、ここ2〜3年は微増ですが、約50%増えました。時間預託や奉仕活動も年々増加(次頁へ)

今年3月末まで、すべての市町村で「総合事業」への移行が完了します。それに伴い、多くの市町村では「生活支援体制整備事業」の中で、第2層(俗に中学校区ともいわれる)の協議体の整備やコーディネートサービスの配置の取り掛かりが始まります。

地域に密着した助け合いを充実し、創出していく旗振り役であり、多くの住民組織、自治会やNPO活動団体などに相談がくることを予想されます。日頃の活動が市民や行政に認知されていることが問われることになるでしょう。

ナルク銚子としてはいろいろな機会を通じて一般市民を巻き込んで「介護シニアサポート研修」「日常生活支援研修」などの講習会を実施して多くの市民の理解を得られるようPR活動をすると共に会員の拡充に努めていきたいと思います。

亀岡拠点 大石郁夫

そのためには、第1に「向こう3軒ナルク会員」となるよう、新会員を増やすことを目標とします。

美幌拠点 松本光男

新年明けましておめでとうございます。新年4月の役員改選で代表を前任者から引き継ぐことになりましたが、まだ経験不足で、何かと皆様方にご教示いただく事も多いと思っております。美幌拠点は平成21年11月に北海道で10番目の拠点として発足し、8年が経過いたしました。会員数も発足当時の78人から、現在120人を超え、ここ2〜3年は微増ですが、約50%増えました。時間預託や奉仕活動も年々増加(次頁へ)

今年3月末まで、すべての市町村で「総合事業」への移行が完了します。それに伴い、多くの市町村では「生活支援体制整備事業」の中で、第2層(俗に中学校区ともいわれる)の協議体の整備やコーディネートサービスの配置の取り掛かりが始まります。

地域に密着した助け合いを充実し、創出していく旗振り役であり、多くの住民組織、自治会やNPO活動団体などに相談がくることを予想されます。日頃の活動が市民や行政に認知されていることが問われることになるでしょう。

ナルク銚子としてはいろいろな機会を通じて一般市民を巻き込んで「介護シニアサポート研修」「日常生活支援研修」などの講習会を実施して多くの市民の理解を得られるようPR活動をすると共に会員の拡充に努めていきたいと思います。

亀岡拠点 大石郁夫

そのためには、第1に「向こう3軒ナルク会員」となるよう、新会員を増やすことを目標とします。

美幌拠点 松本光男

新年明けましておめでとうございます。新年4月の役員改選で代表を前任者から引き継ぐことになりましたが、まだ経験不足で、何かと皆様方にご教示いただく事も多いと思っております。美幌拠点は平成21年11月に北海道で10番目の拠点として発足し、8年が経過いたしました。会員数も発足当時の78人から、現在120人を超え、ここ2〜3年は微増ですが、約50%増えました。時間預託や奉仕活動も年々増加(次頁へ)

今年3月末まで、すべての市町村で「総合事業」への移行が完了します。それに伴い、多くの市町村では「生活支援体制整備事業」の中で、第2層(俗に中学校区ともいわれる)の協議体の整備やコーディネートサービスの配置の取り掛かりが始まります。

地域に密着した助け合いを充実し、創出していく旗振り役であり、多くの住民組織、自治会やNPO活動団体などに相談がくることを予想されます。日頃の活動が市民や行政に認知されていることが問われることになるでしょう。

ナルク銚子としてはいろいろな機会を通じて一般市民を巻き込んで「介護シニアサポート研修」「日常生活支援研修」などの講習会を実施して多くの市民の理解を得られるようPR活動をすると共に会員の拡充に努めていきたいと思います。

亀岡拠点 大石郁夫

そのためには、第1に「向こう3軒ナルク会員」となるよう、新会員を増やすことを目標とします。

美幌拠点 松本光男

新年明けましておめでとうございます。新年4月の役員改選で代表を前任者から引き継ぐことになりましたが、まだ経験不足で、何かと皆様方にご教示いただく事も多いと思っております。美幌拠点は平成21年11月に北海道で10番目の拠点として発足し、8年が経過いたしました。会員数も発足当時の78人から、現在120人を超え、ここ2〜3年は微増ですが、約50%増えました。時間預託や奉仕活動も年々増加(次頁へ)

今年3月末まで、すべての市町村で「総合事業」への移行が完了します。それに伴い、多くの市町村では「生活支援体制整備事業」の中で、第2層(俗に中学校区ともいわれる)の協議体の整備やコーディネートサービスの配置の取り掛かりが始まります。

地域に密着した助け合いを充実し、創出していく旗振り役であり、多くの住民組織、自治会やNPO活動団体などに相談がくることを予想されます。日頃の活動が市民や行政に認知されていることが問われることになるでしょう。

ナルク銚子としてはいろいろな機会を通じて一般市民を巻き込んで「介護シニアサポート研修」「日常生活支援研修」などの講習会を実施して多くの市民の理解を得られるようPR活動をすると共に会員の拡充に努めていきたいと思います。

亀岡拠点 大石郁夫

そのためには、第1に「向こう3軒ナルク会員」となるよう、新会員を増やすことを目標とします。

美幌拠点 松本光男

新年明けましておめでとうございます。新年4月の役員改選で代表を前任者から引き継ぐことになりましたが、まだ経験不足で、何かと皆様方にご教示いただく事も多いと思っております。美幌拠点は平成21年11月に北海道で10番目の拠点として発足し、8年が経過いたしました。会員数も発足当時の78人から、現在120人を超え、ここ2〜3年は微増ですが、約50%増えました。時間預託や奉仕活動も年々増加(次頁へ)

傾向にありますが、全国的な傾向ではあると思いますが、当拠点でも会員の高齢化が進み、高齢者等の通院や車の免許証の返上などもあって時間預託活動としては、「送迎」が特に増えている現状です。



厳しい冬の除雪作業にあたる北国の会員

(平成27年度98時間、平成28年度は176時間)。
しかしその反面、庭木のせん定や除草、除雪など技術と体力が必要とする作業提供者の不足が課題となっており、雪国以外の方には想像できない厳しい状況があります。

陸行事や同好会活動を通じて、会員同士の輪を広げ、現会員の人材育成と新会員の勧誘による人材確保が鍵となると思われます。

益田拠点は平成20年4月、133番目の拠点としてスタートしました。当初のメンバーは14人でしたが、現在180人程になりました。これまで順調に会員数が増やしてまいりましたが、今年度は死亡退会なども多く、足踏み状態です。本年度は10周年の記念すべき年であり、その節目にふさわしい成果が挙がるよう会員相互の輪を大切に活動したいと思っております。

活動数の伸びのほとんどは、市包括支援センターおよび住宅事業所からの依頼です。しかし最近では個人からの依頼もあり、ナルク益田の活動が市民の間に浸透してきたように思います。依頼を受けたいという声も聞かれます。また毎月の例会後には、講師の指導のもと「3B体操」も行っています。

新しい年が明けた。「平成」の元号は来年の4月未だ。次は何かなく、お節料理を頂きながら家族で予想したり、平成という元号を発表した時の官房長官・小淵恵三氏の話題などで、いきやかに新年を迎えた。私は「正月」の声を聞くと、いつも実家(新潟)の風景を思い出します。まず、12月28日の早朝に父と母が土間でもちつきを始め、ペタンペッタンと音と共に、「早くして!」「父さんの間の取り方が下手くそしろ!」と、夫婦げんかの声で目が覚める。耳を澄まして布団の中にいると、また夜が明けていないのに母が、「つき立ての餅、くいて(食べて)」と起こしに来る。私は目をこすりながら、餡やきな粉をからめた餅を食べるのだ。

雪国以外の方には想像できない厳しい状況があります。今後ナルクの活動を円滑に進めていくためには、一定数の提供者を確保していく必要があります。年間行事の中の各種

百歳現役を合言葉に 益田拠点 本井宗明
ご夫婦が、いち早く会員登録をしてくれました。それから現在まで、庭の手入れ・掃除・食事作り・病院の付き添い・寝たきりの方の話し相手・事務所の片付けから・事務所当番表の作成・提供者利用者のポード記入・奉仕活動点数の集計・等々その手際がいいことにご感服しております。預託点数は1,000点をゆうに越え、友人・知人にナルクの活動を語り、多くの方を紹介し会員になっていただいております。

活動の根源である 活動の師範の腕を持ちながら、自慢することなく、謙虚にいつも笑顔で活動に協力してくれて「熱い」人です。またまた、はちのへに「熱い」人はたくさんおりました。板橋さんは料理と片づけ(プロ級)奉仕活動の際は手作りの

が率先して、献立から買い出し、仕上げまで、経験を生かして活動してくれました。コーディネーターは渡部さんと活動に協力を惜しまない方など「熱い」人はいっぱいいます。また、事務所を無償で貸してくれた藤田さんなど、ありがた〜「熱い」人です。

また何人かいますが、紙面の都合で詳しく報告できないのが残念です。代表の類家さんはどしり構え、鶴の一声で問題を解決に導いてくださる貴重な存在です。年2回、河川のゴミ拾いを定期的に行っておりますが、その活動が県民局の水辺のサポーターに認定されました。写真はその活動風景です。(事務局長・樋口シゲ記)

おらが拠点の 熱いひと

はちのへ拠点の巻

平成12年に、本州最北端の青森県に「ナルク」を立ち上げようと有志が集まり、青森市ではなく八戸市に拠点を置く「ナルクはちのへ」愛称ゆいっことひらがなを入れたの柔らかなイメージで発足しました。

はちのへ拠点の「熱い」人は何人もいますが今回はその一部の方を紹介いたします。



河川のゴミ拾い活動に当る皆さん

またまた、はちのへに「熱い」人はたくさんおりました。板橋さんは料理と片づけ(プロ級)奉仕活動の際は手作りの

が率先して、献立から買い出し、仕上げまで、経験を生かして活動してくれました。コーディネーターは渡部さんと活動に協力を惜しまない方など「熱い」人はいっぱいいます。また、事務所を無償で貸してくれた藤田さんなど、ありがた〜「熱い」人です。

また何人かいますが、紙面の都合で詳しく報告できないのが残念です。代表の類家さんはどしり構え、鶴の一声で問題を解決に導いてくださる貴重な存在です。年2回、河川のゴミ拾いを定期的に行っておりますが、その活動が県民局の水辺のサポーターに認定されました。写真はその活動風景です。(事務局長・樋口シゲ記)

つれづれの記

新年を迎えて

新しい年が明けた。「平成」の元号は来年の4月未だ。次は何かなく、お節料理を頂きながら家族で予想したり、平成という元号を発表した時の官房長官・小淵恵三氏の話題などで、いきやかに新年を迎えた。私は「正月」の声を聞くと、いつも実家(新潟)の風景を思い出します。まず、12月28日の早朝に父と母が土間でもちつきを始め、ペタンペッタンと音と共に、「早くして!」「父さんの間の取り方が下手くそしろ!」と、夫婦げんかの声で目が覚める。耳を澄まして布団の中にいると、また夜が明けていないのに母が、「つき立ての餅、くいて(食べて)」と起こしに来る。私は目をこすりながら、餡やきな粉をからめた餅を食べるのだ。



た。そして元旦。同じ客間で雑煮やちま子を頂くのだが、そこでも父の独壇場。「うちの先祖は大坂の陣で豊臣方の武将として活躍した薄田兼相(ちなみに実家の苗字は薄田で、父の名は重次郎)。講談や歌舞伎などに登場する岩見重太郎と同一人物と言われている。武者修行の旅をしながら狒々(ひひ)や大蛇などの化け物を退治した豪傑だ。我が薄田一族は兼相の血を引き継いでいることを忘れないように」と毎年、同じことを話す。

結婚して大阪に来た私が最初に住んだのが羽曳野市。この地に兼相の墓のあるのを知り、その奇遇に驚いた。気になりいろいろ調べたが、兼相は武者修行に越後にも行ってたようだ。子孫といっことはまんざら嘘ではない? しかし、色がよく大きくても酸味が強いので正月飾りにしか使えないダイダイ(橙)と同じで、見掛け倒しの「橙武者」と評価は良くない。明治35年生まれの父はそのことを知っていたのだらうか。

私はこれで元気です

＝わたしの健康法お教えします＝

「食」こそが健康の源

私は傘寿を過ぎましたが、20年間体重変動1Kg以内です。食生活の実状を紹介いたします。主食は玄米食(米を20時間ほど水に浸してから炊飯器で炊く)とパン。朝食はご飯、温野菜(トマト・ブロッコリー・カボチャ・ニンジン・タマネギ)、目玉焼き、豆腐、ごまめ、常備菜、リンゴ(朝食は5年前から自分で作ります)。

昼食はトーストにトマトケチャップ・チーズ・ピーマン・パプリカ等をトッピング。紅茶、バナナ。

夕食は肉と魚(背に青い魚が多い)が交互に。根菜類の煮物、常備菜、納豆。

いずれも妻の手料理ですが、彼女の好まぬ貝・海老・かに・うなぎは食卓に上がりません。漬物は自家製、食べる時間を逆算して漬ける。常備菜は椎茸・高野豆腐・厚揚げ・おからなどです。また、「目覚めの体操」(上半身起こし、両下肢を20センチ上げ、腰を支え両下肢を垂直に上げて腰を浮かす)を布団の上で約10分間します。

枚方拠点 宇仁義明

★「ナルク(NALC)」とはNPO法人「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」(Nippon Active Life Club)の通称です。

シリーズ

ナルクの遠距離支援活動③
徳島拠点→堺泉北拠点

大阪で笑ろつてんか

一昨年の秋、徳島 拠点の浅野代表か 昌亭(上方落語専門 の定席)へ案内して くれませんか」との 依頼。大阪市内の 拠点で、と思いまし た。徳島拠点の障 害を持たれた会員 は、私が徳島拠点の 設立にかかわったこ ともあり、堺泉北拠 点の高城マサ子会員 と私が案内するこ とになりました。

徳島をバスで出発 された一行6人は 11時過ぎに大阪梅田 に到着し、タクシー で天満へ。大阪天満 宮でお参りし、近く のレストランで昼食 をとりました。皆さ んは、外出慣れされ ており、障害のある ことを忘れるほど、 お元気に行動され ていました。

その後、繁盛亭の 2階席の最前列で揃 いて、お土産を 買っていただき、 握手し再会を約束し お見送りしま した。



天満天神繁昌亭

梅田のバスセンタ ーで、お土産を 買っていただき、 握手し再会を約束し お見送りしま した。とろろで皆 さん、今大阪 はにぎわって いますよ。外 国人観光客も いっぱい います。若い人

拠点リーダー養成講座
11月9、10日大阪市内で開催



大きな成果をあげた拠点リーダー養成講座

2日目は各 班から討議内 容のまとめ の発表が行 われ、また 受講者が 事前に提出さ れた本部の 質問や提 言、要望 等に対し

はUSJが特に人 気。たし焼き、串カ ツなど「うまいも ん」、漫才、落語な ど「おもしろいこ と」「いっぱいあるん で」「てんや」「藤吉」 が作った「吉本新喜 劇」も大はやり! どうぞ、大阪へ来て 「わろてんか」。つ いでにナルク本部へ も寄ってや!

26人の精鋭が集ま り、熱のこもった研 修が行われた。ま ず神野会長の 「ナルク総論」で、 ナルク設立の意義・ 基本理念とリーダー としての心構えにつ いて、新会長として の思いが語られた。 引き続き宮本事務 局長から「定款に ついて」、昼食を挟 んで寺井副会長から 「組織の仕組みと機 能について」、西村 事務局長から「時間 預託活動と奉仕活動 について」、青木常 務理事から「事業活 動について」、月森 事務局長から「ナ ルク平成28年度決算 について」それぞれ 講義が行われた。

その後、3つの班 に分かれてグルー プ討議が行われ、「活 動会員の拡大」「拠 点の活性化」をテ ーマに活発な議論が 交わされた。

「拠点 リーダー 養成講 座」が11 月9日、 10日の2 日間、例 年の篠山 市を離れ、大阪 産業創造 館(大阪 市中央 区)で開 催された。 全国の拠 点から男 性15人、 女性11人 の計

て、会長以下による コメントがあった。 今回の養成講座 は、初めて大阪で実 施されたが、受講者 全員、これまで以上 に意欲的で熱心な取 り組みで、大きな成 果を上げることが出 来た。

大分拠点
社会福祉大会
で市から表彰



表彰状手にする大分の皆さん

去る11月8日、第 48回大分市社会福祉 大会が開かれた。席 上、ナルク大分拠点 が、会員相互の生活 支援活動や、福祉施 設での活動、地域の 子育て支援、環境美 化などに著しく貢献 した優良社会福祉団 体として大分市長、 および大分市社会福 祉協議会会長から表 彰されました。

今後とも、ナルク の理念のもと、地域 に貢献できる団体と して頑張っていくこ と、会員一同心を新 たにしました。

この活動は17人で 始まった。現在、私 は週一回、小学校の 下校時に合わせてパ ーティをする。地区 内の4つの小

これは奈良県地域 教育力再生事業とし ての取り組みで、放 課後に図書室などを 活用して、勉強や遊 びを通して、地域住 民との交流を図り、 子供たちの社会性を 育てる活動です。

1年生の生活科の学 習として、「むかし あそび」を実施しま した。我々が子ども のころに遊んだ「こ ま回し」「けん玉」 「竹馬」「めんこ」 「お手玉」「おはじ き」などを教えるな ど、楽しい時間を過 ぎました。遊びを 通じて、地域の方と 触れ合う楽しさにも 気づいてもらえたと 思います。

このころ

東葛拠点
岩田芳子



八十路を迎える私 は、「今日1日を大 事に過ごしたい」と 強く思うようになり ました。我が家の小 さな庭に出たとき、 草花に花が咲いてい ると、とても幸せを 感じます。

時には近くの親し い友人から「お茶し ませんか」とか、「ラ ンチしましょう」と のメールが来ると大 喜びで出かけて行 き、楽しい時間を過 ぎしています。

主人が亡くなった ときに、多くの人に 助けをいただきました。 気づけられませんでした。 ちょうど、そんな 時にナルクを知り、 今まで、たくさんの 人たちからいただいた 恩返しが出来れば と、入会させていた だきました。

入会して何年もた つのに、たいしたお 役にも立てず、逆にお世話になるばかり です。でも、いろい ろな行事に参加させ ていただくと、たく さんの出会いがあ

り、その時々を受け 取る優しさや温かさほ ど14キロをゆっくり と巡回する。子供た ちがクルクル回る青 色灯を見つめ、笑顔 で手を振ってくれる のが本当に嬉しい。

毎週水曜日の14時 30分から16時30分ま で開かれ、学童保育 以外の子どもが対象 です。活動内容は、子供 たちはまず宿題をし ます。算数や漢字ド リルなどです。分か らないところを教え ます。一度考えよう という指導が、宿題が 終わればお話し会・ホ ッ ケーキ作り・宝探し があります。

私の簡単料理・自慢の一品
おすすめのレシピ
七草粥

【材料】
米(カップ1) セリ ナズナ(ぺんぺん草) ゴギョウ(ハハコグサ) ハコベラ(ハコベ) ホトケノザ(タビラコ) スズナ(カブ) スズシロ(ダイコン) 塩(少々)
※今の時代に七草をそろえるのはなかなか難しい。七草のセットも販売されているが、水菜やホウレン草、三つ葉、春菊などの青物野菜の代用もOK。

【作り方】
①米は軽く洗い、ざるに置いておく。七草は軽くゆで、刻む。
②①の米にカップ5の水と少しの塩を入れ、蓋をして火にかける。そして最初は強火→沸騰したら弱火で、約1時間じっくりと煮る(この間は決してかき混ぜてはいけません、蓋も取らないこと。かき混ぜると濁りが出る)
③1時間ほど経ったら①の七草を入れて静かに混ぜたら出来上がり。

今風のレシピも紹介しよう。

【材料】
上記の材料で出来上がった七草粥 だし200cc(1カップ) 塩少々 みりん小さじ半分 酒小さじ1 薄口しょうゆ小さじ半分 水溶き片栗粉大さじ1 塩適量

【作り方】
①七草粥と水溶き片栗粉以外の材料すべてを鍋に入れ、火にかける。
②沸騰したら水溶き片栗粉でとろみをつける。
③上記で作った七草粥の真ん中に卵黄1個を落とし入れ、②をかけて出来上がり。粥だけで物足りなかったら餅を入れて召し上がって。(吹田拠点・藤岡武)

